

顧みると5年の長きに亘り討論されました技術の問題点が実に大きく、現在、世界の驚異ともいわれる日本工業の発展特に厚板設備の更新に役立つと確信するものであります。技術の進歩は日進月歩ではありますが、それは過去の研究研鑽の基礎の上に築かれるものであり、ここに編集されたそれらの集積が必ずや将来への発展への基盤となり得ると信ずるものであります。

現在すでに大型四重圧延機や、連続圧延機が各地で稼働していますがわれわれはさらにこれについて技術検討を進め世界水準を遙かに抜く厚板技術の完成へ邁進せねばなりません。

最後に臨み、本報告書の発行に当り、初回より主査を勤められた八幡製鉄、藤木俊三氏ならびに嶺次男氏を始め厚板分科会各委員、また貴重なる資料の発表を御許可下された関係各社、さらにその編集に当たられた編集委員の方々に対し深甚なる謝意を表する次第であります。なおこの報告書は厚板分科会関係者には勿論、有益なる資料であることは信じて疑わないものであります。今後の技術発展のいくばくかの資料ともなり得れば幸甚と存じます。

昭和36年4月

鉄鋼技術共同研究会 鋼材部会 厚板分科会

主査 鍵山正則

鋼材部会厚板分科会委員

昭和35年11月現在

部会長		平世 将一		旧委員および幹事	
主査	八幡製鉄株式会社(八幡)	鍵山 正則	部会長	富士製鉄株式会社(本社)	内川 悟
委員	尼崎製鉄株式会社(尼崎)	遠藤 鉄夫	主査	八幡製鉄株式会社(八幡)	藤木 俊三
〃	川崎製鉄株式会社(葺合)	大木 宏	〃	〃 (八幡)	嶺 次男
〃	株式会社中山製鋼所(本社)	上原 孫一	委員	日本鋼管株式会社(本社)	大住三喜生
〃	日本鋼管株式会社(本社)	高野 広	〃	〃 (本社)	高畑 幸男
〃	〃 (鶴見)	勝江 正満	〃	〃 (鶴見)	高橋 明
〃	株式会社日本製鋼所(室蘭)	館野 万吉	〃	株式会社日本製鋼所(室蘭)	鍵和田暢男
〃	富士製鉄株式会社(広畑)	河野 耕二	〃	富士製鉄株式会社(本社)	八部 祐一
〃	三菱製鋼株式会社(長崎)	曾木 武光	〃	〃 (広畑)	野田 郁也
〃	大和製鋼株式会社(大阪)	小樋喜三郎	〃	大和製鋼株式会社(大阪)	大窪 清
〃	八幡製鉄株式会社(八幡)	大脇 武雄	〃	八幡製鉄株式会社(本社)	鍵山 正則
〃	〃 (本社)	太田 隆美	〃	〃 (本社)	工藤太良男
幹事	八幡製鉄株式会社(本社)	京井 勲	〃	〃 (本社)	戸田 健三
〃	富士製鉄株式会社(本社)	野村 正弘	〃	〃 (八幡)	永江 賢吉
〃	通商産業省(重工業局)	安達 甲一	幹事	八幡製鉄株式会社(本社)	鍵山 正則
〃	日本鉄鋼協会	田鍋 力	〃	富士製鉄株式会社(本社)	八部 祐一
〃	日本鉄鋼連盟(調査局)	吉田 道一	〃	日本鉄鋼連盟(調査局)	樫淵 隆